

『予算の近代化プログラムーより少ないお金で最大の効果を』（案）

予算のアウトカム	21年12月 or 3月末まで（22年度予算）	22年12月末まで（23年度予算）
総額のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>予算検討閣僚委員会による予算案の調整</u> 21/12：集権的に予算の重要事項を検討・調整・決定 ○<u>中長期の財政戦略の検討・導入</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>中期財政フレーム(複数年度予算)による予算編成</u> 22夏：最新の経済見通しを作成し、現行施策に基づく4ヶ年の歳入歳出の見通しを作成・公表（各会計別・会計連結・一般政府） フレームを踏まえ予算編成方針を作成・発表 ○<u>予算関連文書の見直し・透明性向上</u> 予算、年央、決算時に予算情報を開示（国・省庁別の財務諸表の早期公表を含む） ○<u>日本版財政責任法の検討</u>（財政戦略を裏付ける）
戦略的な資源配分	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>行政刷新会議による事業仕分け</u>（予算編成に反映） ○<u>内閣の戦略計画・政策達成度目標の導入</u> 21/12：内閣の戦略目標・指標を予算案とともに発表、国会提出 ○<u>各省庁年次計画の導入</u> 内閣の戦略計画に貢献するための計画を作成し、国会提出 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>行政刷新会議による事業仕分け</u> 本格的な予算編成に入る前の春から夏に実施 ○<u>内閣の政策達成度目標の成果報告書の作成準備</u> ○<u>各省年次報告書（財務諸表含む）の作成準備</u>
効率的な執行	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>予算繰越制度の明確化</u> 現状把握と繰越のルールを明確化する ○<u>調達制度の現状把握と見直し</u> 公益法人等への補助金・委託の厳格化 物品・サービス（IT等）の購入の効率化 市場化テストの活性化・コストの可視化 ○<u>会計検査院の活用強化</u>（特に業績監査） ○<u>省庁・独法等毎に予算執行の効率化目標の導入</u> 次官・理事長の責任の明確化と評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>一般行政経費の大括り化</u> 旅費等の細目を止め、弾力的に流用できるようにし、他方で効率化させるため毎年X%削減 ○<u>決算書等で政策コスト計算</u> 予算がどう効率的に使われたかを説明させる ○<u>財務責任者制度（CFO）・内部監査制度の検討</u>（運用＋法案化）

（注）複数のアウトカムにかかるメニューがあるが、重複記載はしていない。